

## 中学生の通信教育おすすめランキングの根拠について

当メディア「ミツカル学び」は、コンテンツ制作における理念を掲げ、これを全記事で遵守しています。

当メディア「ミツカル学び」は以下の3つを約束します。

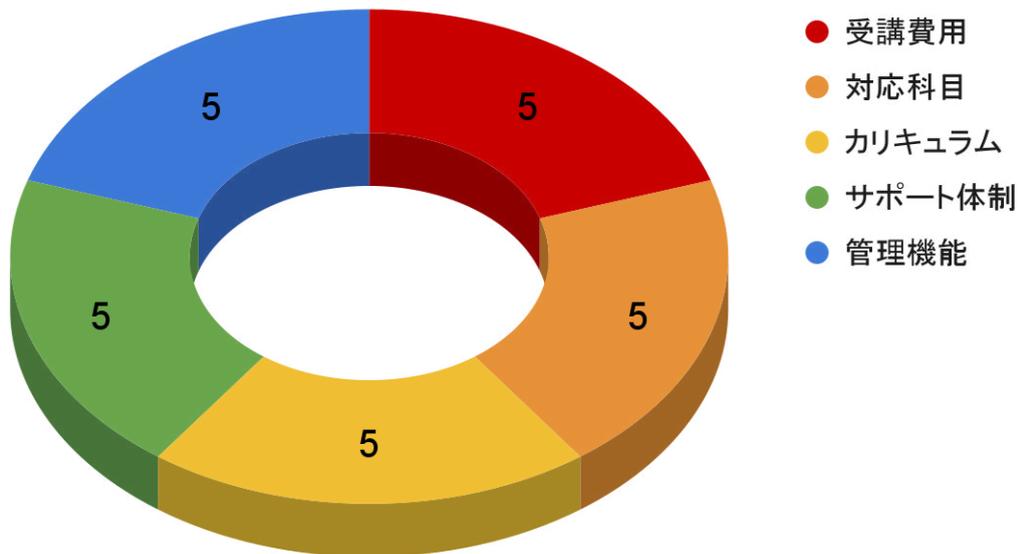
- ・記載されている情報が恣意的に操作されていない公平なものであること
- ・記載されている情報が一次情報に基づく誤りのない情報であること
- ・メディアに訪れるユーザーの疑問や悩みに寄り添い、親身になって答えや解決策を提示すること

コンテンツ制作における理念より

そのためランキングは、ユーザーに客観的な事実をお伝えすることと公平性を守ることを目的に、一次情報の教材公式サイト及びその受講生と保護者からの情報のみに基づいて作成をしています。

採点については集めた情報を精査&分析して、その内容から点数を決定し、最終的に順位付けを実施しています。

### 配点の内訳



配点は教材選びにおいて、とくに重視されることの多い「受講費用」「対応科目」「カリキュラム」「サポート体制」「管理機能」の5項目をそれぞれ5点満点、つまりは合計25点満点としています。

## 採点の根拠

### ● 受講費用(5点)

受講費用の点数は、基本的に公式サイトに掲載されている料金が安ければ安いほど高い点を与えています。言うまでもなく、リーズナブルな教材ほど、お子さんを受講させやすいからです。また、返金制度がある場合は基本的に加点をしています。

しかし、ただ単に安ければいいという訳でもありません。例えば教材Aより教材Bの方が月に2,000円高かったとしても、教材Bの方は学習サポートが圧倒的に手厚ければどうでしょうか？多くの親御さんは、教材Bを受講させたいと思うことでしょう。

そこで公式サイトを受講費用だけを見るのではなく、X(旧Twitter)の投稿なども参考にし、実際の受講生や保護者が当該教材を安いと感じているか？高いと感じているか？も重視して採点を行っています。

### ● 対応科目(5点)

教材は、対応科目も重要です。対応科目の点数については公式サイトを見て、単に対応可能な科目の数ではなく「自由度の高さ」で採点を行っています。つまり「1科目から受講可能・全科目受講可能」であれば、最高の5点となります。

この理由は、自分の苦手科目だけピンポイントで対策したいお子さんもかなり多いからです。苦手科目だけ受講したいお子さんにとっては、対応科目数が多くて自由度がない教材は、かえってマイナスになる可能性もあります。

例えば、英語が得意な生徒にとっては、英語対策よりも数学対策に時間を取りたいでしょう。そのような事情があるにもかかわらず、英語の教材が配信されれば、仮にハイレベル用の教材であっても時間の無駄になってしまうかもしれません。

### ● カリキュラム(5点)

カリキュラムの点数は、主にどれくらい難易度の幅に対応できるかで採点を行っています。つまり基礎固めから応用レベルまで対応できる教材ほど点数を高めにしていきます。

ただし、単純に難易度の幅だけで判断しているわけではありません。途中でのクラス・コース変更の柔軟さもチェックしています。

例えば、自分自身の学力に自信を持って入会した場合であっても、途中で基礎クラス・基本コースに変更したくなることは多いです。もちろん逆のこともあるでしょう。このような場合でも柔軟に対応できる教材は、優れたカリキュラムがあると言えます。

### ● サポート体制(5点)

サポート体制の点数については、進路面談があるか？オンライン自習室はあるか？学習プラン設計の提案はあるか？独自の模試はあるか？などを総合的に見て、採点をしています。

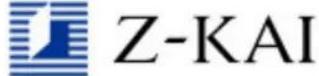
中学生は、学校では部活や行事などで忙しく、自宅ではゲームや漫画などの誘惑も多いです。しっかり自律できるお子さんなら大丈夫ですが、多くの中学生はまだまだ大人ではありません。誘惑や忙しさに負けて勉強が疎かになってしまうことも多いです。

そこで重要なのが、このサポート体制です。サポート体制が充実している教材であれば、まだ自律できないお子さんでも受験に向けて万全の対策ができるでしょう。

### ● 管理機能(5点)

管理機能の点数は、保護者向けサポートページの有無などを総合的に見て、採点をしています。この管理機能は、お子さんの性格によっては、教材を選ぶ際に考慮しなくてもいいでしょう。自律できる子どもにとっては、あまり必要でないことが多いです。

ランキングに掲載した教材の採点根拠ページ一覧  
(複数ある場合は1ページのみ掲載しています)

教材名	公式サイトURL
	<a href="#">受講費用</a>
	<a href="#">対応科目</a>
	<a href="#">カリキュラム</a>
	<a href="#">サポート体制</a>
	<a href="#">管理機能</a>
	<a href="#">受講費用</a>
	<a href="#">対応科目</a>
	<a href="#">カリキュラム</a>
	<a href="#">サポート体制</a>
	<a href="#">管理機能</a>
	<a href="#">受講費用</a>
	<a href="#">対応科目</a>
	<a href="#">カリキュラム</a>
	<a href="#">サポート体制</a>
	<a href="#">管理機能</a>
	<a href="#">受講費用</a>
	<a href="#">対応科目</a>
	<a href="#">カリキュラム</a>
	<a href="#">サポート体制</a>
	<a href="#">管理機能</a>
	<a href="#">受講費用</a>
	<a href="#">対応科目</a>
	<a href="#">カリキュラム</a>
	<a href="#">サポート体制</a>

	管理機能
	受講費用
	対応科目
	カリキュラム
	サポート体制
	管理機能
<p>スタディサプリ</p>	受講費用
	対応科目
	カリキュラム
	サポート体制
	管理機能
	受講費用
	対応科目
	カリキュラム
	サポート体制
	管理機能